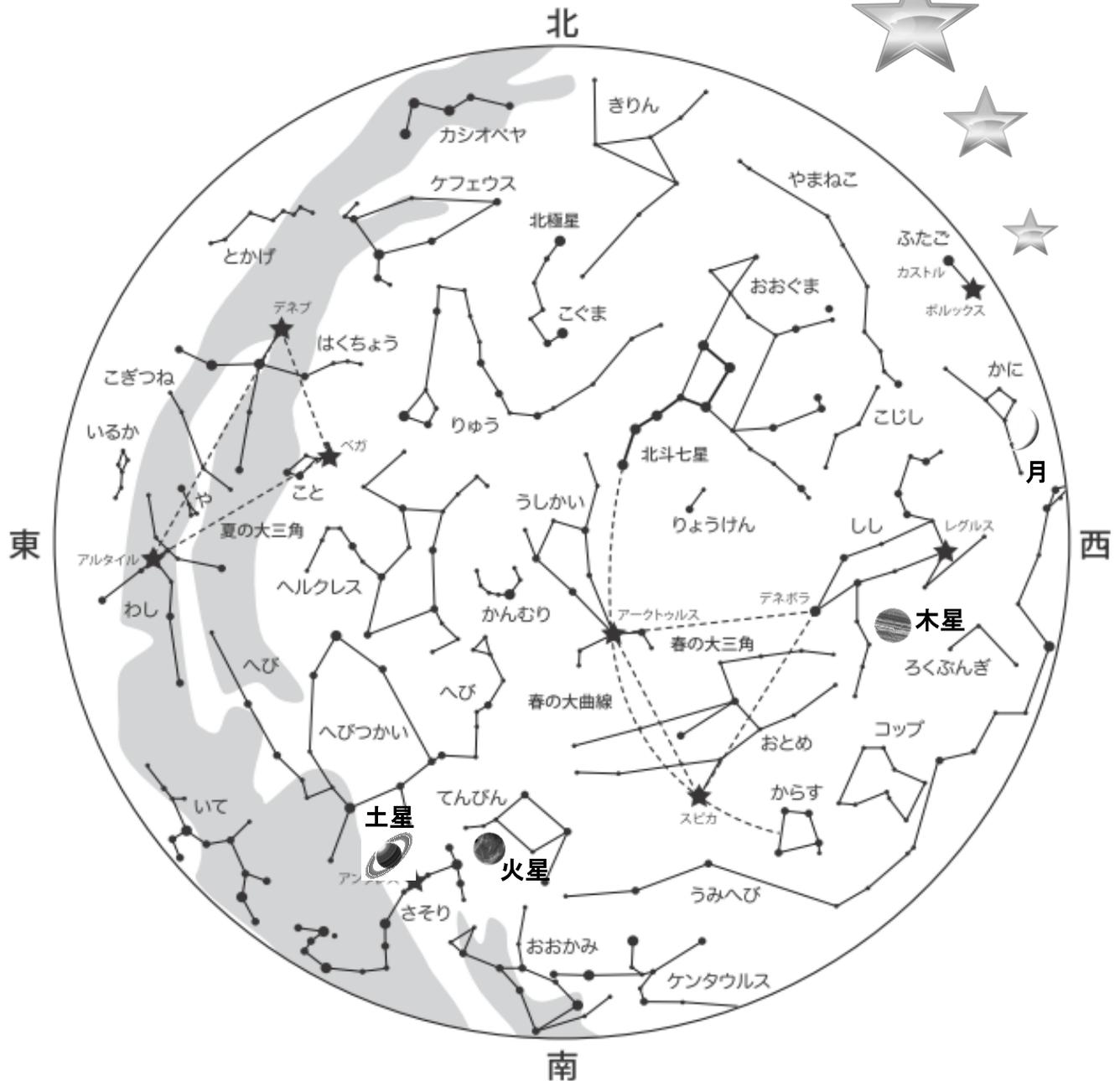


松江市立天文台～6月の天文教室～

平成28年6月8日

～6月中旬午後9時頃の星空～



火星が5月31日に大接近して話題になりましたが、今も南の空で赤く輝いています。

中国地方は6月4日梅雨入りし、6月21日には夏至になるため夜も短くなり、星を見るには決して恵まれた時期ではありませんが、暗くなった空には大接近直後の火星のほか、しま模様が見られる木星や、リングが見られる土星と3つの惑星の共演でとても華やかです。

梅雨の晴れ間に機会があれば、空を眺めてみてください。

6月中旬午後9時頃の星空です。

月、火星、木星、土星の位置は6月8日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみました。

今夜の月



今夜の月は月齢3、午後10時頃には西に沈んでいきます。暗い部分が少し見えるのは、地球からの光に照らされて見える「地球照」です。

火星



火星は、直径が地球の半分の約6700キロ、質量は約10分の1の惑星で、およそ2年2カ月で地球に接近し、5月31日には約7500万キロまで近づきました。望遠鏡で表面の様相も観察できます。

木星

小型天体望遠鏡で見た今夜の木星



木星のは表面のしま模様と、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。4つの衛星は、木星に近い方から、イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストの順になりますが、木星の周りをまわっているため、衛星の位置関係は日々変化します。

土星

小型天体望遠鏡で見た今夜の土星



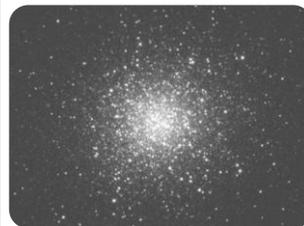
土星は美しいリングがあることで有名な惑星です。リングの本体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。すこし離れて土星最大の衛星タイタンが見られます。

ヘルクレス座



ヘルクレスは、ギリシャ神話に登場する有名な英雄ですが、そのわりには明るい星がなく、みつけにくい星座です。この星座を有名にしているのは、北半球で見える最大級の球状星団M13の存在です。また、α星のラスアゲティはオレンジ色と青緑色の美しい二重星で、望遠鏡で星の色の比較が楽しめます。

球状星団M13



M(メシエ)13は、50万個もの星からなり、その直径は約100光年あるとされています。双眼鏡でも丸い星雲状に見え、大きな天体望遠鏡になると星がひとつひとつ分離して息をのむほどの美しさです。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 7月13日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会